

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：（２）計画・設計から管理までの各段階における最適化 【１】計画・設計の見直し】

補強土壁工法の見直しによるコスト縮減

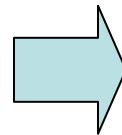
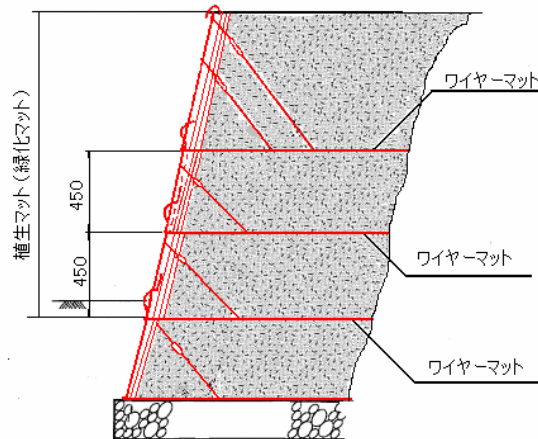
工事名： 田来原工事用道路第7工区（その1）工事他

概要： （従来）ワイヤーウォール（壁高45cm） ⇒ （新）ワイヤーウォール（壁高60cm）

効果

- ①補強土壁工法の新規格の採用（壁高60cmのものが新規開発）。
- ②施行段数の減少による施工性の向上及び工期短縮によるコスト縮減。
■補強土壁部の工事費を49百万円から36百万円に縮減。
（縮減額 12百万円、縮減率 約25%）

（従来）



（新）

